



中小企業診断士 正木 一弘  
(一社)埼玉県中小企業診断協会

新型コロナウイルス流行以来、社会が大きく変化する中で、これまでのビジネスモデルが今後も有効か、不安はありませんか。経営相談や事業計画策定支援に中小企業診断士が携わる際にも、新事業の案件が増加しています。補助金制度の創設もあり、今「事業再構築」に関心が集まっています。

### 事業再構築で変化に応える

社会や環境、市場の大きな変化は、事業の再構築を検討する理由の一つです。博報堂生活総合研究所の「新型コロナウイルスに関する生活者調査」(2021年4月)によると、「ウイルスへの感染懸念がなくなっても現在の生活スタイルを維持したいか」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」の回答の合計が56.4%と半数を超えるました。この背景には、衛生意識の向上、家族と過ごす楽しさ、大切なものの見直しなど、新たな気づきによる消費者の価値観の変化が潜んでいます。

### 事業再構築を成功に導くためのポイント

新たに参入する市場には、実績のある競合企業が多数控えています。そのため、蓄積してきた自社の経営上の「強み」が、新市場でどれだけ競争力を発揮できるかが成否を分ける大きなポイントとなります。人材や人脈、設備や施設、資金、情報などの経営資源が有効かどうかを検討し、不足する資源は補うことが肝心です。

### 事業再構築のテーマを考える4つのステップ

**[第1ステップ：既存事業の分析]** ①「誰に」②「何を」③「どのような方法で提供したか」を整理し、その中で④お客様に評価された「強み」を抽出します。

**[第2ステップ：変動因子の整理と予測]** 事業内容や需要などの変動を整理し、さらにそれらが①今後も定着する、②一時的で元に戻る、③さらに変化していく、のいずれの道を辿るかを予測します。

**[第3ステップ：シミュレーション]** 新たな取り組みを絞り込む上で、まず①「誰に」②「何を」③「方法」のいずれか1つの要素を変え、連動して他の要素を変えてみます。一つにこだわらず、幅広く考えた上で、どの取り組みが最も「強み」を活かせるか判断すると良いでしょう。

**[第4ステップ：再構築テーマの決定]** 売り上げや利益、投資内容、成功確率やリスクを踏まえて、新規事業を選定します。

### 計画策定における支援制度の活用

新事業の検討には文書化をお勧めします。各種補助金の条件を満たす場合は、資金の補助を申請できます。新分野展開、事業転換、業種転換、業態転換などの思い切った再構築に挑戦する場合は、事業再構築補助金に該当する可能性があります。

支援を希望する時は、商工会議所・商工会、認定経営革新等支援機関などに相談すると良いでしょう。中小企業診断士も「埼玉県事業再構築支援センター」の相談・専門家派遣や、埼玉県「商業者事業見直しセミナー」など、様々な場面で支援に関わっています。

### 【問い合わせ先】

埼玉県中小企業診断協会  
ホームページ：<https://sai-smeca.com/>  
電話：048-762-3350  
Eメール：[rmcsai@nifty.com](mailto:rmcsai@nifty.com)